



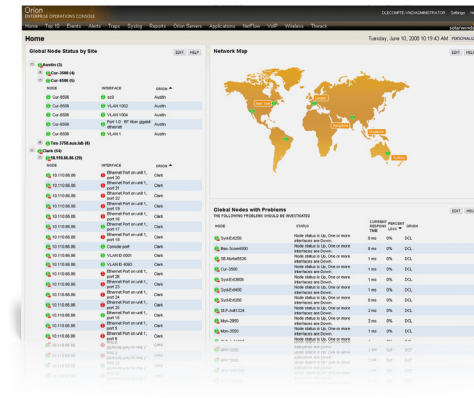
# Orionエンタープライズオペレーションコンソール

## 分散ネットワークの一元管理

### Orion NPMでエンタープライズを、Orion EOCで全環境を監視

「Orionを導入して  
3カ月も経って  
いませんが、  
すでにそれに  
見合う効果が  
上がっています。」

スペンサー・フーレイ氏  
(PMG, Inc.)



実際の世界は、昔の世界観のように平らではありませんが、広いことに変わりはありません。そのため、地理的に分散しているエンタープライズネットワークを管理するには、国内だけであっても世界全体に広がっていても困難を伴います。ネットワークエンジニアはネットワークの安定性を維持し、世界中のどこで発生したネットワークの問題であっても早急に対応しなければなりません。また、ネットワーク全体で業務サービスが最適な状態で利用できるようにするためには、ネットワークのリソースを適切に利用する必要があります。いずれは瞬間移動の技術が開発されるかもしれませんが、それまでの間は遠隔地から、しかもWANのパフォーマンスに影響を与えないようにしながら、こうした作業を行わなければなりません。

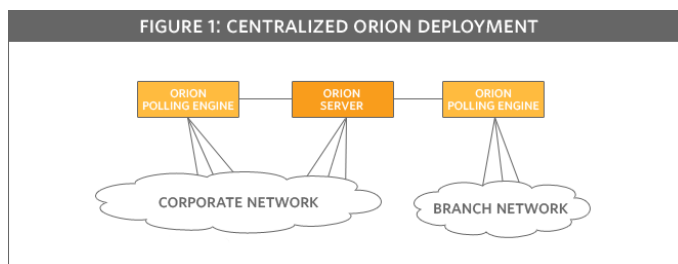
Orionエンタープライズオペレーションコンソール (EOC) は、エンタープライズネットワーク全体を監視する統合司令センターの役割を果たし、Orion Network Performance Monitor (NPM) と関連モジュールが実行されている遠隔地のOrionサーバーに対して、可視化の統合を図ります。費用のかかるコンサルタントを必要とし展開も難しい、複雑なエンタープライズ管理ソリューションとは異なり、Orion EOCはポイント&クリックによるセットアップで簡単にインストールと設定が可能。また、アーキテクチャがWANに対して最適化されているため、ネットワークの成長に合わせる拡張性が特長です。そのため、遠隔地に展開された数多くのOrionサーバーからデータを統合し、数百から100万超までのネットワーク構成要素を監視することができます。

#### Orion EOCの主な機能

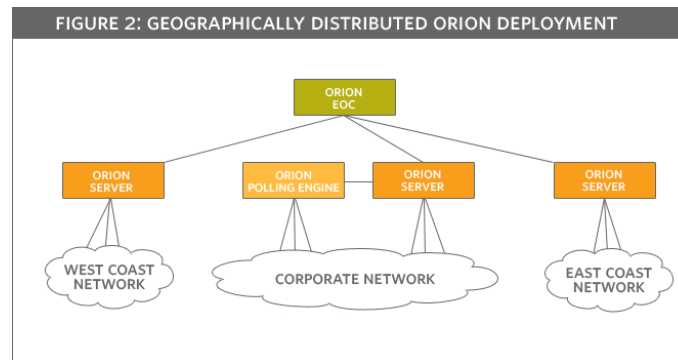
- 分散したOrionサーバーが監視しているエンタープライズ全体のネットワーク健全性を、**単一のインタラクティブな画面**に表示
- シンプルな**ポイント&クリックによるセットアップ**ですぐにネットワークの監視を開始でき、コンサルタントは不要
- EOCの**アーキテクチャはWANに対して最適化**されているため、ネットワークのパフォーマンスに影響を与えずに、100万超のネットワーク構成要素の監視まで拡張可能
- マネージドサービスプロバイダ (MSP)**での利用をサポートしており、複数の顧客サイトに展開されたOrionサーバーから得た重要な情報を統合して、単一の画面に表示
- エンタープライズとMSPで**重複IPアドレスの監視**を行うことができるため、サイト間のIPアドレス競合によるクライアントのIP設定の変更は不要
- イベントやアラート、トラップ、Syslogのグローバル表示をはじめ、帯域幅の利用率や応答時間、CPU、メモリ、ディスク容量の利用率に対する**グローバルトップ10ビュー**によって、ミッションクリティカルな問題に集中できる環境を提供
- 他のあらゆるOrionモジュールを**シームレスに統合**し、VoIPインフラストラクチャやネットワークトラフィック、ワイヤレスデバイス、アプリケーションで発生した問題を素早く数値化
- リソースの追加や削除、再編成をはじめ、メニューバーの変更などによる**カスタムビューの作成**

## Orionの展開例

Orionサーバーは、スタンドアロンでの利用も分散ネットワーク上の複数の展開も可能です。図1は、単一のOrionサーバーが大規模な企業内ネットワークと小規模な支社内ネットワークを監視する際の設定を示しています。このシンプルな展開方法では単一のSQLデータベースが必要です。監視能力の拡張性はデータベースのパフォーマンスに依存しており、ポーリング頻度などの条件に応じて、通常は50,000~100,000のネットワーク構成要素が上限となります。この展開方法は、企業とそのIT担当者が地理的に集中している場合に理想的です。



複数のOrionサーバーで管理を行う場合は、図2に示すように、複数のサーバーを集約する司令センター的なコンソールとしてOrion EOCを利用することができます。この設定は、地理的にネットワークが分散しているエンタープライズ規模の企業やマネージドサービスプロバイダに向いています。



この展開方法では、各Orionサーバーがそれぞれのローカルネットワークを監視し、集計した情報をEOCに送信します。本社にはOrionサーバーが1台あり、ポーリングエンジンで監視範囲を拡張しています。また、東海岸と西海岸のネットワークは、それぞれがOrionサーバー1台を使ってローカルネットワークを監視し、企業の基幹ネットワークへの国際WANトラフィックを最小限に抑えます。

Orion EOCは、本社を含むそれぞれの地域のSQLデータベースから、Orionサーバーのデータをセキュアな状態で直接収集します。各Orionサーバーはローカルでネットワークデバイスをポーリングし、またEOCはそれぞれのOrionサーバーのデータベースから定期的により更新情報を取得するため、WANのパフォーマンスへの影響は抑えられます。WANに最適化されたこのようなアーキテクチャによって、WANトラフィックは最小限に抑制され、WANへの接続が一時的に切断された場合でも、各地域のOrionサーバーはポーリングを中断せずに行い続けます。そしてWANへの接続が復帰すると、EOCは自動的にOrionサーバーに再接続するので、ネットワークの健全性に関する重要な情報が失われることはありません。

### Orionモジュール

- アプリケーションパフォーマンスモニター
- NetFlowトラフィックアナライザ
- IP SLAマネージャ
- IPアドレスマネージャ

Orionモジュールによって、Orion NPMの監視能力がネットワークトラフィックの分析、アプリケーション、サーバー、VoIP、ワイヤレスデバイスにまで拡張されます。

### システム要件

CPU:2GHz。ハードドライブ容量:100MB。  
メモリ:2GB。OS: Windows Server 2003、  
.NET Framework 3.5。データベースと  
その他のサービス: SolarWinds Orion  
Network Performance Monitorバージョン  
8.5.1以降、SQL Server 2005 Express、  
Standard、Enterpriseのいずれか、  
インターネットインフォメーションサービス6.0。  
ポート: Orion情報サービスプロトコルは  
ポート17777/TCPを使用